



音更ロータリークラブ



人類に
奉仕する
ロータリー

例会報告	第1109回	2017年3月22日
例会日	水曜日 12:30~13:30	
創立	平成5年10月19日	
会長	行木 隼人	
副会長	村瀬 正明	
幹事	富田 秀彦	
事務局・例会場	河東郡音更町木野大通西7丁目1 ハピオ木野内	

起立：村瀬 正明SAA
 点鐘：行木 隼人会長
 開会宣言：村瀬 正明SAA

[2016~2017年度スローガン]

もっと、ロータリークラブを楽しもう~全会員総親睦委員~

会長挨拶



みなさん、こんにちは~

昼1時から始まり、夜も遅くまでIMお疲れ様でした。楽しくお酒も飲めたのではないのでしょうか？基調講演の坂田先生、特別講演の足立先生、ロータリーの堅苦しい話であったかもしれませんが、今この変革を必要とする時代の流れにある我々のクラブの立ち位置を確認する上では重要なお話であったと思います。世界のロータリークラブの構成比率もアメリカ大多数から、アジア圏、南アメリカ圏のロータリアンが増え、生活の上で全く異なる宗教圏の人たちも数多く存在するような構成になってきています。その結果、アメリカをはじめとした白人を中心とした世界的な価値観を推し進めるグローバリズムを推進してきたことから、アジア、アフリカ、南米などの様々な文化や価値観が入り込んだグローバル化がロータリーの価値観となることを意味します。ロータリーの本質は変わらないが、それぞれの国の合わせた価値観でロータリーを理解する。クラブ単位で言えば、クラブの状況に合わせた価値観でそのロータリーを理解するということでしょうか？

というのも、我々音更ロータリークラブは残念なことに人数は38名といるのですが、出席者は半数程度で、長年会員でいる方もそれほど多くはなく、どちらかといえば、私も含め、若い会員が多いクラブです。そのため、昔ながらのロータリークラブの考え方をそのまま受け入れることができる人が少ない、価値観が多様化している人たちが集まったクラブと言えるでしょう。これから長くロータリーと付き合いしていくためには大きな幹となる考え方は変わらないが、それぞれの会員事情等を考えながらクラブに参加することが必要であると思われました。今、我々のクラブは変革の時期に当たっています。みんなで方向性も考えていきたいと思えます。

ニコニコ献金

行木会長

ワイシャツの第一ボタン、一回で閉めることができました。（やせたかも）

ゲスト紹介

音更ロータリークラブ 伊藤 秀敏 様
 音更ロータリークラブ 及川ゆかり 様

会員卓話

久保 明 会員 『介護保険について』



副幹事報告



出席報告

出席委員長：長屋正宏

	例会数	計算に用いる会員数	ホームクラブ出席者	メイクアップ	欠席	出席率
前回	37					
今回	37					

次週プログラム予定

- 3月29日(水) 職場訪問 (職業奉仕委員会)
- 4月4日(火) お食事会 場所：焼肉だいじゅ園 木野大通東店
- 4月5日(水) ゲスト卓話 母子の健康月間 理事会⑩ (出席委員会)

例会案内

- 月曜日> 広尾RC：日高信金広尾支店2F <水曜日> 音更RC：ハピオ木野コミュニティホール <木曜日> 足寄RC：足寄銀河ホール
- 帯広南RC：北海道ホテル 帯広RC：ホテルノースランド帯広 清水RC：清水町中央公民館
- <火曜日> 芽室RC：めむろーど2FセミナーホールⅡ 上士幌RC：川村会館 帯広西RC：北海道ホテル
- 帯広東RC：帯広ワシントンホテル <金曜日> 帯広北RC：ホテルノースランド帯広

発行元：音更ロータリークラブ 会報委員会

今月の会報担当者：岡本

岡本清司、竹田晋二、小野彰也、守護雅富、作田英実、大和志郎、室谷直義、若原幸紀